

【新】・・・新規事業
あらゆる自然災害への対応力を強化

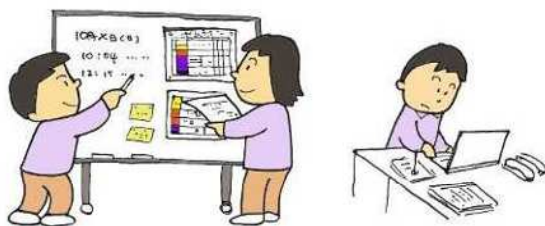
事業名	予算額
(1) 災害対策本部訓練の実施 【新】	(1) ～ (3) の合計
(2) 臨時災害 FM 放送局の実験試験局免許取得 【新】	20,308千円
(3) 避難所環境の充実（ペットの避難環境整備） 【新】	

ここがポイント！

- (1) 災害対策本部訓練の実施
- ☛ 災害対策本部・各部と避難所、関係機関（国、東京都、警察、消防、自衛隊等）、協定団体等との連携を想定した防災訓練を実施
- (2) 臨時災害 FM 放送局の実験試験局免許取得
- ☛ 災害時の多様な手段による情報発信のさらなる取組みとして、発災時に開局する臨時災害 FM 放送局の実験試験局免許を取得し、防災訓練等で試験放送を実施
- (3) 避難所環境の充実（ペットの避難環境整備）
- ☛ 災害時に安心してペットと避難できる環境を整備するため、避難所におけるペット同行避難のルール整備やペット用備蓄の充実を図る

事業概要
(1) 災害対策本部訓練の実施

- 令和6年度・7年度の2か年で策定・改定中の防災関連計画素案を検証するため、発災初日を想定したタイムラインに基づき、全庁での図上訓練を実施する。
- 令和6年度に導入した北区総合防災情報システムを活用し、災対本部・各部及び避難所間の情報収集・伝達を行うとともに、訓練結果を踏まえて今後の訓練計画を策定し、災害対応力のさらなる強化を図る。



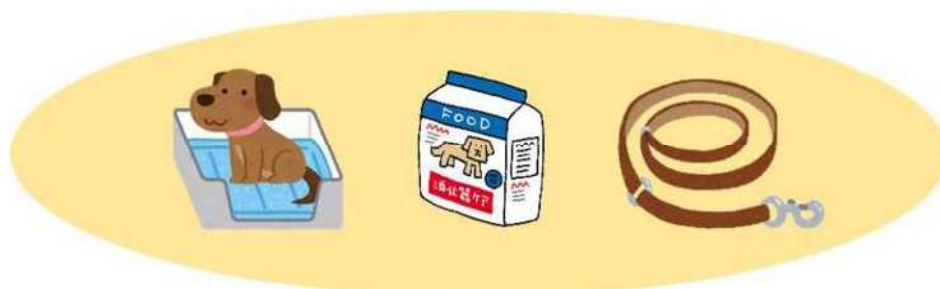
(2) 臨時災害 FM 放送局の実験試験局免許取得

- 放送大学 FM 跡地周波数(77.1MHz)を活用し、大規模災害時に「北区臨時災害 FM 放送局」を活用し情報発信を行うため、実験試験局免許（5 年間有効）を取得する。
- 停電や通信障害時にも受信可能な情報伝達手段を確保し、避難所情報や給水場所、医療支援など、災害時に必要な情報を迅速・確実に区民へ届ける。
- 全庁防災訓練や区民まつり、防災の日などの機会を捉えて、区内全域に向けた試験放送を実施。区内避難所や走行車両等での受信状況も確認し、発災時の円滑な放送実施に向けた運用の確立と区民等への周知を図る。



(3) 避難所環境の充実（ペットの避難環境整備）

- 令和 7 年度末に改定する避難所運営マニュアルにおいて、避難所でペットの同行避難を受け入れるために配慮する事項や飼養等のルールに関する記載を整理する。
- 自宅等が被災した区民が安心してペットとともに避難所に同行避難できるよう、ペットフードやトイレシート、ケージに加え、新たにペット用リードを備蓄する。



※避難所でペットの飼育に必要な物品は、原則、飼主がご自身で用意いただく必要があります。

【(1) (3) の担当】

防災対策推進担当副参事
電話 03-3908-8184

【(2) (3) の担当】

防災・危機管理課長
電話 03-3908-8184

【新】・・・新規事業

多彩な支援で地域防災力を強化

事業名	予算額
(1) 地域防災力の強化に向けた取組み【新】	(1) 3,928千円
(2) 水害ハザードマップの更新（アプリ導入）【新】	(2) 8,536千円
(3) 大規模水害を想定した「我が家の水害リスク診断書」等による啓発【新】	(3) 38,250千円

ここがポイント！

- (1) 地域防災力の強化に向けた取組み
- 多様な防災関連動画の公開を通じて、区民一人ひとりへの周知・啓発の推進や、自主防災組織等による防災活動への支援を図る
 - 「防災士」の資格取得に係る助成制度を創設し、地域防災の担い手を育成する
- (2) 水害ハザードマップの更新（アプリ導入）
- 位置情報（GPS）との連動により、いつでもどこでもその場所のハザードマップ情報の確認が可能
 - 高齢者や視覚障害者へ対応した音声読み上げ機能を追加
- (3) 大規模水害を想定した「我が家の水害リスク診断書」等による啓発
- 荒川氾濫による浸水想定区域を対象に、各住戸の浸水リスク等を記載した「我が家の水害リスク診断書」を郵送し、リスクに応じた適切な避難行動の啓発を図る

事業概要

(1) 地域防災力の強化に向けた取組み

- 防災に関する基本情報や、発災後の避難行動、避難所での生活環境等を動画で公開し、広く区民に周知するとともに、日ごろからの備えなどの啓発を行う。
- 避難所の開設・運営に関する手順や、防災資機材の操作方法等の動画を作成し、発災時の活動支援を強化するとともに、平常時は自主防災組織などによる訓練等において活用する。
- 動画は北区公式ホームページで公開するとともに、各種防災訓練やイベント等においてデジタルサイネージを活用し公開する。
- 地域の防災の担い手となる「防災士」の資格取得に係る助成制度を開始する。

(2) 水害ハザードマップの更新（アプリ導入）

- 東京都の想定最大規模の高潮による高潮浸水想定区域図改定にあわせ、高潮ハザードマップを改定する。
- スマートフォン用アプリを導入することで、より簡易的にハザードマップ情報を確認できるとともに、高齢者や視覚障害者への対応も行う。
- 更新項目
 - 高潮浸水想定区域図の改定
 - 音声アプリ読み取り用のバーコード等の配置
 - その他時点修正

(3) 大規模水害を想定した「我が家の水害リスク診断書」等による啓発

- 「北区大規模水害を想定した避難行動の基本方針」を改定し、荒川氾濫の恐れがある場合に高台避難が必要な区域や屋内安全確保が可能な区域など、リスクに応じた避難行動の考え方を整理し、マイ・タイムラインの普及啓発等とあわせて区民等へ周知啓発する。
- 荒川氾濫時に浸水被害が想定される区内約 12 万世帯を対象に、各住戸別の浸水深や浸水継続時間、適切な避難行動等を記載した「我が家の水害リスク診断書」を作成・郵送し、自宅等の水害リスクを「我がこと」として認識し、大規模水害への必要な備えを日頃から考える契機とする。



【(1) の担当】

地域防災担当課長

電話 03-3908-8194

【(2) の担当】

道路公園課長

電話 03-3908-9213

【(3) の担当】

防災・危機管理課長

電話 03-3908-8184

【新】・・・新規事業

全国初！区内の若者を闇バイトから守る

事業名	予算額
闇バイト防止対策啓発講習会を実施【新】	829千円

ここがポイント！

闇バイト防止対策啓発講習会を実施

- 現役大学生が立ち上げたスタートアップ企業制作の闇バイトを追体験できるプログラムを導入予定
- 導入予定のプログラムを活用した教育は公立中学校においては全国初の試み

事業概要

闇バイト防止対策啓発講習会を実施

- 全国で若者が「闇バイト」に応募し犯罪に加担している状況を受け、ネットリテラシー教育の一環として、「闇バイト」を取り上げて試験的に実施する。
- 区立中学校に通う3年生から希望者を募って、令和7年5月以降に定員50名で2回実施する予定。
- 区教育委員会とも連携し、区立中学校1校をモデル校として3年生を対象に実施する予定。



【担当】

生活安全担当課長

電話 03-3908-1121